

# シェムリアップ Moi Moi ライフ

ISSUE  
102

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくり」との意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



## 小出 陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。

● JST ホームページ

<http://www.jst-cambodia.net>

## 中学校退学者のその後

バイヨン中学校では、退学を申し出た生徒に対して、なんとか思いとどまるよう本人だけでなく保護者にも説得を行っていました。しかし、最近はその村の誰もが、気軽にマイクロファイナンスで多額の融資を受け、結果、返済に苦慮し、両親が借りたローン返済のために学校を辞めざるを得ない生徒が続出しています。そもそも、中学生の親たちは、小学校に通ったことがないか低学年で辞めている世代で、識字率は1割ほどの程度金利というものを理解し、契約書にサインをしているのか疑問に思いますが、借り始めの時期は皆、これで大きな家が建てられるなどと大満足なので、傍から何を言っても全く耳を貸しません。とぼっちりを受けるのは、そのために中学校を退学せざるを得ない子供たちです。

退学者はその後、どうしているのかと気になっていましたが、先日、町の電気店で働いている、退学間もない少女2人に出会いました。辞めた理由は、一人はやはり親



町の電気店で働く、バイヨン中学校を退学した少女2人

が借りたローン返済のためで、田畑を売っても返済できず、結果、彼女も働くことになったとのこと。もう一人は日曜だけアルバイトをしていた遺跡の屋台が閉店したため、常勤の現在の電気店に勤めることになったからでした。それまでの稼ぎは月10ドルほど。その月10ドルがないために、中学3年生の卒業間近で退学せざるを得なかったとは！現在の2人の月給は125ドルで、そのうち100ドル以上を家に入れて、残り25ドル弱で生活しているそうです。しかも休みは月1日のみ。

2人とも運動が得意で、バイヨン中学校時代は、サッカーのゴールキーパーだったり、運動会で活躍したり…。将来の夢は、小学校の先生と警察官とのことですが、もう、彼女たちの夢は叶うことはないのでしょうか。1か月後に再び会いに行つたところ、猛暑の中、汗を流しながら働く2人は以前よりだいぶ痩せ、何はともあれ健康には気を付けて！と願っしかりませんでした。